

# 令和6年度採用 高等学校 保健体育

|        |      |
|--------|------|
| 教科(科目) | 受験番号 |
| 保健体育   |      |

1

- (1) 次の文章は、「スポーツ基本法(平成23年法律第78号)」の前文の一部である。  
(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は11。

スポーツは、(ア)を担う青少年の(イ)を向上させるとともに、他者を尊重しこれと(ウ)する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や(エ)心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等(オ)の形成に大きな影響を及ぼすものである。

- ① ア 次代    イ 体力    ウ 協同    エ 探求    オ 人格
- ② ア 次代    イ 体格    ウ 協力    エ 克己    オ 人間
- ③ ア 次代    イ 体力    ウ 協同    エ 克己    オ 人格
- ④ ア 時代    イ 体格    ウ 共同    エ 探求    オ 人間
- ⑤ ア 時代    イ 体力    ウ 協力    エ 探求    オ 人格
- ⑥ ア 時代    イ 体格    ウ 共同    エ 克己    オ 人間

(2) 「第3期スポーツ基本計画（令和4年3月25日 文部科学省） 第2部 今後取り組むべきスポーツ施策と目標 第1章 東京大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けて、特に重点的に取り組むべき施策」に掲げられている項目として**適切でないもの**を、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は12。

- ① 東京大会の成果を一過性のものとし、ない持続可能な国際競技力の向上
- ② 東京大会の成果を踏まえた東日本大震災等被災地の復興支援
- ③ 東京大会に向けて培われた官民ネットワーク等を活用したスポーツを通じた国際交流・協力
- ④ 安全・安心に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承
- ⑤ 東京大会で高まった地域住民等のスポーツへの関心をいかした地方創生、まちづくり
- ⑥ 東京大会の開催時に生じたスポーツに関わる者の心身の安全・安心確保に関する課題を踏まえた取組の実施

(3) 「第32回オリンピック競技大会」, 「東京2020パラリンピック競技大会」について述べた文として**適切でないもの**を, 次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

- ① オリンピック競技大会の開催期間は令和3年7月23日(金)から令和3年8月8日(日)までの17日間で, パラリンピック競技大会の開催期間は令和3年8月24日(火)から令和3年9月5日(日)までの13日間であった。
- ② オリンピック競技大会とパラリンピック競技大会の参加国・地域数は, いずれも過去最多となった。
- ③ オリンピック競技大会とパラリンピック競技大会の参加選手数は, いずれも過去最多となった。
- ④ 1964年(昭和39年)開催の東京大会と比較すると, 開催期間, 参加国・地域数, 参加選手数のいずれも大きい数値となった。
- ⑤ 競技・種目数は1964年(昭和39年)開催の東京大会と比較すると, 大きい数値となった。

(4) 次の文ア～オについて、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和3年5月 環境省・文部科学省） 2.4 熱中症の予防策」で述べられている熱中症予防の原則として適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は14。

- ア 環境条件を把握し、それに応じた運動，水分補給を行うこと
- イ 暑さに徐々に慣らしていくこと
- ウ 個人の条件は考慮しないこと
- エ 服装に気を付けること
- オ 具合が悪くなった場合にはゆっくりと運動を中止し，必要な処置をすること

|   | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | × | ○ | ○ | × |
| ② | ○ | ○ | × | × | ○ |
| ③ | ○ | × | × | ○ | ○ |
| ④ | × | × | ○ | ○ | × |
| ⑤ | × | ○ | × | ○ | × |
| ⑥ | ○ | ○ | × | ○ | × |

(5) 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書（令和4年12月 スポーツ庁） 第2章 基礎集計 II. 中学校生徒の調査結果 3 生徒質問紙の集計結果」に記載されている、「保健体育の授業は『あまり楽しくない』または『楽しくない』と回答した中学生のうち、「今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなると思いますか」の問いに対する回答の割合が最も高かったものを次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① 自分のペースで行うことができたなら
- ② できなかったことができるようになったら
- ③ 人と比較されないようになったら
- ④ 自分に合った場やルールが用意されてたら
- ⑤ 運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら

- (6) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編（平成30年7月 文部科学省） 第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容 「体育」 3 内容 A 体づくり運動 [入学年次]」の一部である。(a)～(d)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

ア 体ほぐしの運動

(中略)

体ほぐしの運動は、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付くこと、仲間と自主的に（ a ）をねらいとして行われる運動である。

指導に際しては、これらのねらいを関わり合わせながら運動を経験するだけでなく、心や体の状態を軽やかにし、（ b ）の軽減にも役立つなど、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことができるように留意することが大切である。

(中略)

イ 実生活に生かす運動の計画

実生活に生かす運動の計画では、自己の（ c ）を振り返り、健康の保持増進や調和のとれた（ d ）を図るために、体の動きを高める運動の計画を立てて取り組むことが大切である。

- ① a 交流し合うこと    b ストレス    c 日常生活    d 体力の向上
- ② a 関わり合うこと    b 疲労    c 運動内容    d 身体の形成
- ③ a 交流し合うこと    b ストレス    c 日常生活    d 身体の形成
- ④ a 関わり合うこと    b ストレス    c 日常生活    d 体力の向上
- ⑤ a 交流し合うこと    b 疲労    c 運動内容    d 体力の向上

- (7) 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕 2 内容 H 体育理論〔第1学年及び第2学年〕」の一部である。(a)～(e)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

○ 運動やスポーツの多様性

ア 知識

(1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。

(7) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。

(イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び( a )などの多様な関わり方があること。

(ウ) ( b )や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。

(中略)

○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方

ア 知識

(2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解すること。

(7) 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な( c )を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。

(イ) 運動やスポーツには、特有の( d )があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。

(ウ) 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や( e )などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。

- ① a 知ること      b 世代      c 人間関係      d 技術      e 体調
- ② a 考えること      b 世代      c 人間関係      d 技能      e 体調
- ③ a 知ること      b 年齢      c 人間関係      d 技術      e 体調
- ④ a 考えること      b 年齢      c 信頼関係      d 技術      e 体力
- ⑤ a 知ること      b 世代      c 信頼関係      d 技能      e 体力

(8) 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕 2 内容 B 器械運動〔第1学年及び第2学年〕」に示されている中学校で学習する器械運動における「知識」の例示として**正しくないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① 器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことができること。
- ② 器械運動は、種目に応じて多くの「技」があり、技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあること。
- ③ 器械運動は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができること。
- ④ 技の名称は、運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていること。
- ⑤ 技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあること。

- (9) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編（平成30年7月 文部科学省） 第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容 「体育」 3 内容 C 陸上競技 [入学年次の次の年次以降] (1) 知識及び技能 知識」に示されている内容の一部である。下線部ア～オの解説として**正しくないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

(1) 知識及び技能

陸上競技について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動について、記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ア 技術の名称や行い方、イ 体力の高め方、ウ 課題解決の方法、エ 競技会の仕方、オなどを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。

- ① ア 技術の名称や行い方では、局面ごとに技術の名称があること、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあること、それらを身に付けるための安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解できるようにする。
- ② イ 体力の高め方では、陸上競技のパフォーマンスは体力要素の中でも、短距離走では主として瞬発力などに、長距離走では主として全身持久力などに強く影響される。そのため、それぞれの種目に必要な体力を技能に関連させながら高めることが重要であることを理解できるようにする。
- ③ ウ 課題解決の方法では、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解できるようにする。
- ④ エ 競技会の仕方では、競技会や記録会の競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などを理解できるようにする。
- ⑤ オなどの例では、走る、跳ぶ、投げるなどの動作を局面に分けて段階的に目標を設ける。

(10) 水泳に関する文ア～オについて、内容が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。  
解答番号は20。

ア キャッチとは、水をつかまえるという意味である。

イ プルとは、水を進行方向に対して逆向きに押す動作を指す。

ウ エントリーとは、指先あるいは手が水中に入る局面を指す。

エ プッシュ（フィニッシュ）とは、腕のかきの最終局面で、水を最も力強く押す局面を指す。

オ ローリングとは、腕のかきに合わせて体の中心線を軸に下半身を回転させてひねるような動作である。

|   | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| ② | × | ○ | ○ | × | ○ |
| ③ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| ④ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| ⑤ | ○ | × | × | × | ○ |

(11) バレーボール6人制競技規則(2023年度版)に示されている内容として**正しくないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① 相手チームがアタックヒットを行う前にネットを超えてボールに接触することは許されない。
- ② 相手チームのサービスをブロックすることは許されない。
- ③ 一人の選手が連続してボールを2回ヒットすること、またはボールが一人の選手の身体のさまざまな部分に連続して触れることをダブルコンタクトという。
- ④ ボールをつかむこと、または投げることは許されない。
- ⑤ リベロは、サービスはできるが、ブロックまたはブロックの試みをしてはならない。

(12) 次のア～オのうち、「2018年～2020年国際柔道連盟試合審判規定」に示されている内容として、適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は22。

ア 「抑え込み」は宣告から20秒間、相手を抑え込めば一本となる。

イ 「抑え込み」の宣告から15秒以上20秒未満の抑え込みを「技あり」とする。

ウ 「抑え込み」の宣告から10秒以上15秒未満の抑え込みを「有効」とする。

エ 「技あり」と「有効」で合わせて1本となる。

オ 試合場内に上がる審判員は主審1人のみである。

|   | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| ③ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| ④ | ○ | × | × | × | ○ |
| ⑤ | × | × | ○ | × | × |
| ⑥ | × | × | ○ | × | ○ |

- (13) 次の文章は、「学校体育実技指導資料 第9集 表現運動系及びダンス指導の手引(平成25年3月 文部科学省) 第1章 理論編 第1節 『表現運動系及びダンス』のねらいと内容 2 『表現運動系及びダンス』のねらいと内容 (3) 『ダンス系』領域の内容とねらい」の一部である。(a)～(e)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

そもそもダンスは、人類の最古の文化の一つであり、踊りを持たない民族はないといわれるように、今日に至るまで、時代とともに変容しながら常に人間の生活と深く関わって存在してきた文化です。ダンスの語源の一つに「( a )の欲求」という意味があるように、人々は様々な思いや欲求を( b )で語りかけ、生きる証として踊り、踊りを通して他者と共感・交流してきました。そして、現在、老若男女を問わず、多種多様なダンスがさまざまな地域で踊られています。踊って楽しむ( c )的なダンスや、観て楽しむ( d )的なダンス、( e )的発生の特徴を持つ歌舞伎舞踊やフラダンス、舞台芸術としてのバレエなどは、その一例と言えます。

- ① a 生命      b 身体      c 娯楽      d 芸術      e 民俗
- ② a 肉体      b 身体      c 快楽      d 芸術      e 民族
- ③ a 生命      b 表現      c 娯楽      d 芸術      e 民族
- ④ a 肉体      b 身体      c 快楽      d 鑑賞      e 民俗
- ⑤ a 生命      b 表現      c 娯楽      d 鑑賞      e 民俗

(14) 代表的な生活習慣病について述べた文として**適切でないもの**を、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は24。

- ① 虚血性心疾患は、心臓病の代表的な例である。
- ② 脳卒中は、正式には脳血管疾患という。
- ③ 脂質異常症とは、血液中の脂質のうち、中性脂肪やLDLコレステロールが過剰な状態、あるいはHDLコレステロールが少ない状態をいう。
- ④ 糖尿病とは、インスリンというホルモンの作用不足により、血液中の糖の濃度が高くなってしまう病気である。
- ⑤ 高血圧症は、症状が進むと血管壁の弾力性が失われ、血管壁にHDLコレステロールなどが沈着すると動脈硬化が進む。
- ⑥ COPDは、慢性閉塞性肺疾患とも呼ばれる。

- (15) 次のグラフが示している救命の可能性と時間経過に関して、心肺蘇生（法）について述べた文として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から**すべて選べ**。解答番号は25。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

- ① 心肺が停止すると、救命率は急速に低下する。
- ② 救急車が来るまでに、救命措置をした場合は、何もしなかった場合と比べて救命の可能性は高くなる。
- ③ 救急車が来るまでに、救命措置をした場合は、何もしなかった場合と比べて救命の可能性はあまり変わらない。
- ④ 傷病者を発見した場合、すぐに心肺蘇生法を行う必要がある。
- ⑤ AEDは「ない」場合が多いため、AEDの手配をしない。

- (16) 次の文章は、性ホルモンについて述べたものである。(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は26。

性ホルモンの影響により (ア) 性徴, すなわち, 男性らしい体つき, 女性らしい体つきへの変化が起こる。また, (イ) に作用して精子や (ウ) の成熟, (エ) の成立・維持に関与する。性ホルモンは, 男性ホルモンと女性ホルモンに分けられ, 女性ホルモンはさらに (ウ) ホルモンと黄体ホルモンに分けられる。男女とも男性ホルモン, 女性ホルモンの (オ) を体内でつくっている。

- ① ア 一次 イ 神経 ウ 卵巣 エ 受精 オ 片方
- ② ア 一次 イ 性腺 ウ 卵巣 エ 妊娠 オ 両方
- ③ ア 一次 イ 神経 ウ 卵胞 エ 受精 オ 両方
- ④ ア 二次 イ 性腺 ウ 卵胞 エ 妊娠 オ 両方
- ⑤ ア 二次 イ 神経 ウ 卵胞 エ 妊娠 オ 片方
- ⑥ ア 二次 イ 性腺 ウ 卵巣 エ 受精 オ 片方

(17) 「大気汚染と健康」に関して述べた文ア～オについて、内容が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組合せの正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は27。

ア 1967年に公害対策基本法、1968年に大気汚染防止法が制定された。

イ 光化学オキシダントとは、複数の大気汚染物質が太陽からの強い紫外線を受け、化学変化を起こして作られる酸化力の強い物質である。

ウ 2015年のパリ協定では地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出量を減少させることが目標として掲げられた。

エ 光化学オキシダントによって、目が刺激されたり、呼吸困難や手足のしびれが引き起こされたりする。

オ PM2.5とは大気中に浮かぶ粒子状物質のうち、その大きさが2.5 μmより大きいものをいう。

|   | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| ② | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| ③ | ○ | ○ | × | ○ | × |
| ④ | ○ | × | ○ | ○ | × |
| ⑤ | × | ○ | ○ | ○ | × |
| ⑥ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

- (1) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編（平成30年7月 文部科学省）第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第1節 教科の目標及び内容 1 教科の目標」である。(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、(ア)な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かな(イ)を継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び(ウ)における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての(エ)や社会の課題を発見し、(ア)な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで(オ)ある生活を営む態度を養う。

- ① ア 効果的, 積極的    イ スポーツ環境    ウ 社会生活  
エ 自他                    オ 活力
- ② ア 合理的, 計画的    イ スポーツライフ    ウ 社会生活  
エ 自他                    オ 活力
- ③ ア 合理的, 計画的    イ スポーツライフ    ウ 社会環境  
エ 他者                    オ 価値
- ④ ア 効果的, 積極的    イ スポーツライフ    ウ 社会環境  
エ 他者                    オ 価値
- ⑤ ア 合理的, 計画的    イ スポーツ環境    ウ 社会環境  
エ 自他                    オ 価値

- (2) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編（平成30年7月 文部科学省） 第1部 保健体育編 第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 第1節 指導計画作成上の配慮事項 2 「保健」（4） 指導内容の構成」の一部である。（ア）～（オ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は29。

「保健」の指導内容は、学習指導要領において、「現代（ア）と健康」、「（イ）な社会生活」、「（ウ）を通じる健康」及び「健康を支える（エ）づくり」の4項目で構成されており、それぞれの項目について、知識または知識及び（オ）と思考力、判断力、表現力等の内容が示されている。

- ① ア 生活 イ 安全 ウ 一生 エ 環境 オ 技術
- ② ア 社会 イ 安全 ウ 一生 エ 健康 オ 技術
- ③ ア 社会 イ 健全 ウ 生涯 エ 身体 オ 技能
- ④ ア 社会 イ 安全 ウ 生涯 エ 環境 オ 技能
- ⑤ ア 生活 イ 健全 ウ 生涯 エ 健康 オ 技能
- ⑥ ア 生活 イ 健全 ウ 一生 エ 身体 オ 技術

- (3) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編（平成30年7月 文部科学省） 第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第1節 教科の目標及び内容 2 教科の内容」で示されている標準単位数である。（ア）～（オ）に当てはまる数字の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

保健体育科に属する科目の標準単位数は、次のとおりである。

| 科目 | 標準単位数  |
|----|--------|
| 体育 | (ア) 単位 |
| 保健 | (イ) 単位 |

「体育」及び「保健」は、全ての生徒に履修させる科目であり、「体育」及び「保健」を必修科目として履修させる単位数は、上記の標準単位を原則として下ってはならないものである。

「体育」については、第1章総則第2款3で示されているとおり、標準単位数が(ア)単位とされており、各学校の特色に応じて、卒業までに(ウ)単位を配当することとされている。このため、(エ)単位未満に単位数を減じて配当することはできない。

また、「体育」の標準単位数を引き続き(ア)単位と幅をもって示したのは、各学校でそれぞれ適切な(オ)を編成することができるように配慮したものである。

- ① ア 7～8      イ 2      ウ 7又は8      エ 7      オ 教育課程
- ② ア 6～7      イ 3      ウ 6又は7      エ 6      オ 教育課程
- ③ ア 7～8      イ 2      ウ 7又は8      エ 8      オ 教育課程
- ④ ア 8～9      イ 3      ウ 8又は9      エ 8      オ 学習過程
- ⑤ ア 7～8      イ 3      ウ 7又は8      エ 7      オ 学習過程